

# まちづくりミーティング開催結果概要



## 開催テーマ 女性活躍の推進

### 参加者

桐生市女性人材リスト登録者 5名  
桐生市長  
報道機関 2名

日時：令和5年3月7日（火）18時30分～19時30分

場所：桐生市保健福祉会館503会議室

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 議題

### 女性活躍の推進

#### 意見交換のポイント

- 女性活躍の推進のために、実践していること、心がけていること
- 女性活躍の推進の場の確保と男女共同参画社会の実現のために桐生市と共創したいこと 等

5 閉会

# やりがいをもって活動できる場を作る



(市長)

本日は、開催テーマを「女性活躍の推進」とし、様々な分野で活躍いただいている皆様のご意見を伺い、今後、何ができるか、また何が必要かについて、共に考えてまいりたい。

## 意見交換のポイント

- 女性活躍の推進のために、実践していること、心がけていること
- 女性活躍の推進の場の確保と男女共同参画社会の実現のために桐生市と共創したいこと等

にさせていただきます。

これに限らず、普段の皆様様の活動内容なども伺いたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

(意見)

自分が行っている市民活動の分野において、「女性活躍の推進」という意識で活動しているわけではないが、振り返ると、社会の場にはじめて出たと感じたのはPTAだった。

その経験が、誰かがやりたいことをお手伝いする、今の中間支援組織の活動につながっていると考える。女性活躍には、自分が中心に出ていくこともあれば、誰かを支える側もあると思う。

どちらにしろ、自分がやりがいをもって活動できる場を作ることが重要だと考える。男女問わず、やりたいうことをできていることが幸せであり、得意分野を活かすことが活躍の近道ではないかと考える。

(市長)

誰かがやらなくてはいいということなら自分がやろうという意識で、人に喜んでもらえることをやりたいと考え、地道に実践してきた活動の中で今があると思う。女性活躍を推進するためには、女性が意識をもってやる気になるような取組や仕組みが重要であると思う。先輩方を見ながらこうなりたいと思って活動してきた私もそうなるように活動していきたい。

誰もが働きやすい環境、職場づくりが求められている中、女性活躍もそこに包含されているように思う。意見のとおり、やりがいをもって活動できる場を作ることが目指すべき姿の一つであると思う。

(意見)

建築の仕事はこれまで男性社会であったが、昨今、女性建築士も増えてきている。家を使う時間が長いのは、まだまだ女性であり、細かい仕様に対する設計の面から、住宅の仕事は女性の方が向いているのではないかと考える。

P T A や育成会、町会に関わる中で、学校の様子や地域の色々な仕組みが分かり、行事への参加を通して仲間を増やすことができた。女性ならではの気付きは、そうした活動の中でも生かすことができると思う。また、地域で暮らす中では、男女共に社会で役に立つことを引き受けると、自分に返ってくることを実感している。

女性活躍の推進という点では、やはりそうした活動や会議の場に半数は女性が入っていくべきだと考える。立候補者がいるかによってしまいが、市議会にも女性の人数が増えた方が、住みやすいまちになっていくのではないかと考える。

(市長)

本市でも自治会・町会の役員のなり手不足は大きな課題になっており、女性の方にも入ってもらいたいと考えている。自治会の活動に貢献できることや、こんな良いことがあるといった講演などをしてもらい、女性の地域活動の後押しをしてもらえるとうれしい。



女性ならではの気付きを活かす

(意見)

スタッフの募集に際し、子供が熱を出したときに休めるかどうかの確認が多かったことや、保育参観・授業参観の専用の休みがほしいとの要望があったので、休みを取れる仕組みを作った。このほか様々な制度を作り、子育て中のお母さんが働きやすい環境、仕組みづくりをしてきたところ、国から表彰を受けることができ、そうした仕組みを発信する取組も行っている。

事業を拡大しながら、女性が働きやすい職場環境づくりを進めたところ、事業を開始してから18年の間で70人以上の子供が生まれ、約90人いるスタッフの内、毎年10パーセント程度のスタッフが生産・育休を取るようになった。世間では少子化であるが、うちの会社ではそうした感じはしない。

働きやすい職場環境づくりにより、お母さん方は安心して生み育てられるのだと実感している。また、そうした環境づくりにより、シニアや病気を持った方なども働けるダイバーシティの仕組みのモデルケースの一つにもなったと考えている。

そうした取組から、他の企業等の働きやすい職場環境づくりをお手伝いする仕事を開始した。

ほとんどの企業で、女性の管理職への登用方法や女性のキャリア意識の向上策などが課題に挙げられている。女性も管理職になりたい、挑戦したいと思っているが、企業側が環境づくりに手を付けられていない状況がある。

また、大企業では、女性の管理職の登用が進んでいるが、ほとんどのケースで社外取締役である。

そのため、女性がキャリアを目指すセミナー等を実施し、意識の醸成を図っている。

桐生市や群馬県の会議に出席して思うのは、参加者が女性よりも男性の方が多いことである。会議では、男女比が半々になると良いと思う。

また、管理職の割合は、所属する職員の男女比と同じ割合にすることがベストだと考える。それができないのは環境が整っていないことが要因なので、職場環境を整えることが重要である。

(市長)

女性の職場環境づくりとして、休める仕組みと働きやすい仕組みの両方の観点から取り組むことは簡単ではなかったと思うが、実践され、結果を数字で出していることは凄いと思う。

我々行政も、働く女性の職場環境づくりについて、参考にしていきたい。



女性が働きやすい職場環境づくり

(意見)

時代が変わっていく中で、女性活躍とは何かを考えたときに、キャリアのこともあれば、家の中でがんばっていることも活躍なのではないかと考える。

活躍とは自立した生活の上にあると思う。時間が無い、心の余裕がない方々の自立のために、何を応援することが良いのかを話し合う必要があると思う。

今般は市長と直接話す機会を設けてもらえたが、普段はどのように声を届けたら良いかが分からない。助け合う、支え合うためにどうしたら良いかということ話し合う場所が必要だと考える。

そうした話し合いを通じて、お母さんたちが元気になると、明るい社会になると考える。

(市長)

まちづくりミーティングや市長対話集会「笑顔のふれあいトーク」などを実施してきた中で、参加者の方々からは市長と話す機会ができて良かったと言われるが、そのことと自体を反省しないといけないと考えている。

現場の話を聞くことで、課題解決や将来に向けた発展につながることは、我々も十分認識しているが、そうした機会が足りていなかったということだと思う。

専門性のある話であれば、担当職員にも参加してもらい、意見交換をしたいと考えている。そうした意見交換により、共感、共創のまちづくりにつながると思うので、皆さんの団体でそうした場が必要であれば、相談してほしい。



話し合いの場を作る

(意見)

女性活躍の推進について、心のこと、意識の問題として考えてみた。

そもそも男女でももの捉え方は異なると思われる。男性対女性という、比較や競争、対立という意識ではなく、男性と女性の良いところを持ち合って補い合う、融合させた新しい形をイメージすることが重要である。

男性の場合、女性が入ってくることで、自分の立場が脅かされるのではないかと不安があり、女性の場合には男性の中に入って、大変な思いをするのではないかと不安があるのではないかとと思うが、融合したイメージを持つことで、そうした不安が和らぐのではないかと考える。

さきほど、建築の仕事は、女性の方が向いているという意見があったが、女性によるきめ細かな対応が現場で重宝されるケースは様々あると思う。

そうしたところで、女性の社会進出を推進するため、例えば資格の取得に補助金を交付することも考えられる。

また、若い女性で意見を持っている方もいるので、その方々が気軽に意見を言えるように、LINEを活用することも良いと思う。

(市長)

男女共同参画や女性活躍の推進とあるが、誰もが働きやすい、末永く働き続ける場をつくるための取組の中に女性活躍の推進は含まれているのだと思う。区別なく、補い合うことは重要であると考えます。



良いところを持ち合って補い合う

(市長)

会議の場に出ても自分の意見が言えない、発言がしにくい、会議になじめないケースが多くあると思う。

他市の事例において、ファシリテーターが協議の場に入り、参加者の意見集約を行う取組があり、本市でもファシリテーターの育成をしたいと考えている。

みなさんの活動の中で意見集約を行うことがあると思うが、意見の引き出し方など、工夫していることについて伺いたい。

(意見)

共感や傾聴が大事である。共感しながら話を聞く事で、もっと話してほしいという意思が伝わり、意見に対する想いを引き出すことができると思う。

(意見)

女性は一言話するとスッキリすると思うので、参加者に一言発言してもらおうことを心掛けている。

また、育成会やPTAにおいて、子供に関わることは、みんなが関わりやすい内容なので、子供のためにみんなで協力しよう。わたしたちもそれをやったら楽しい。という雰囲気を作り、親子で楽しめるイベントを企画することが重要である。

また、会議もお茶飲み話的に楽しくできるようにすることが重要である。

(意見)

中間支援組織として、団体同士をつなぐ際には、何がやりたいのか、活動に対する想いなどを最初に伺うようにしている。

会議の場では、参加者は必ず意見を持っているので、話を振り向けるように心掛けていく。

また、お菓子を用意しておくことや簡単なゲームを実施するなど、話しやすい雰囲気作りも重要である。参加者意識を持ってもらうことや緊張しない空気感を作ること、良い意見を引き出すことができる。

(意見)

市長が話を伺いに現場に出向く場合、集まる人たちが話題にしてほしいことをテーマにする、心に届くと思う。また、保護者会など、ターゲットも絞ると良いと思う。

(市長)

本日は、様々な団体から集まり、意見交換を行う場になった。これを契機に、さらにネットワークを広げてもらえると良いと思う。行政側も皆さんとどのように関わり、意見交換を行うと良いのか検討しているところである。本日の意見を踏まえ、また皆さんに意見を投げかけることもあろうかと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。



みんなが意見を言い合える会議の場に